万年農業1年生 院長の自然観察日記(27)

『無肥料・無農薬・自家採種・連作・草マルチ』の1年目。

8月11日、暑い日でしたが、果樹園に行って来ました。内心、また 水やりが必要かと心配していましたが、奇跡的に雨が降ってくれて、水 やりの必要がなくなったため、念願の支柱立てを行うことができました。 植えてから3年経過したので、それまで支えていた支柱をはずしたら、 なんと風の強いこの果樹園では、強風にあおられて柿の木が折れたほか、 栗の木なども曲がってしまい、かわいそうなくらいでした。そこで、再度、 支柱が必要になったわけです。

これまでは土に手でできるだけ深く支柱を刺して木に縛りつけていた のですが、あまりの風の強さに支柱ごと抜けたり、斜めに倒れてしまっ たりして用をなしませんでした。そこで穴掘り機を買って 50cm ほどの 穴を掘りしっかり支柱を立てたのです。以前、「次郎、頑張れ!」と書い たのですが、折れたのは「次郎」ではなく「太秋(たいしゅう)」でした。

でも、折れた所から元気な枝が伸びて来たので す!すごい。根がしっかり成長していたのです ね。支柱で支えてこれでどんな強風が来ても大 丈夫。どんどん大きくなれ!

実が2個着いていたのは「禅寺丸」という授 粉樹です。授粉樹というのは、とても花粉が多 い木で、ほかの木に花粉が飛んでたくさん実が できるようにと植える木です。でも、授粉樹の 実も食べれます。「桃栗三年、柿八年」と言われ ます。この木は3年目です。どんな味かな?



「桃栗三年、柿八年」の栗の木です。やはり3 年目。確かに実がなりました。この諺(ことわざ) は正しいようです。「ぽろたん」「銀寄」「美玖里 (みくり)」の3種類を植えたのですが、どの種 類かわからなくなってしまいました(泣)。

皮のむけ方で「ぽろたん」はわかるのです。 渋皮から実が「ぽろっと」取れるので「ぽろたん」。 果樹はほかにもあって、やらなければならないことは山積みです。特に キウイフルーツの棚を上手に作らなければなりません。今はジャングル みたいになってしまいました。

苺の草取り:エンコログサにおおわれた苺畑です。 これでも、背の高い草(セイダカアワダチソウなど) を抜いたあとなのです。畑に初めてやって来た方 に、「ここはこれから何を植えるのですか」と言わ れてしまいました。なんとか草取りをがんばらな

いといけません。



ブルーベリーの夏剪定:雨が少ないので、実が 少ないブルーベリーですが、中にはたくさんの 実をつけた樹もあります。

スイカとかぼちゃ: 北海道かぼちゃができて来

ました! 私にして は上出来

です。しかし、植えた苗は10個 以上……。

収穫予定のかぼちゃは……個。

スイカ!と言っても、小玉くらいの大きさしかあり ません。本当は大玉のスイカの種なのですが。中は 赤か黄色か。今年は種取りします。来年は、畝立て をしっかりして豊作へ!





今年も大豆の栽培が始まりました。

農園の方が、雨と種蒔きをにらめっこして、上手に

発芽させること ができました。 収穫は11月で



洋先生のスポーツによる痛みセミナー 64 背前下筋腱損傷

上腕骨頭を包み込むように存在する肩の内 在筋(腱板といいます)の一つに肩甲下筋 があります。スポーツではラケットを振り 下ろしたり、投球する動作で最も重要な筋 肉で、肩甲骨と肋骨の間に存在する筋肉部 分と上腕骨頭の前方に付着する腱の部分が あります。大部分は表面から触ることは困 難ですが、損傷すると肩の前方に腫れや痛 みを生じることがあります。例えば、ゴー

ルキーパーが腕を上げた状態でボールを 強く片手に受けた時や、支柱などをつかん だまま転倒しそうになって腕が強く後ろに 引っ張られることで損傷することがありま す。診断には各種の徒手検査やレントゲン のほか、エコーや MRI が有用です。損傷 が軽い場合はリハビリなどの保存治療が、 断裂が大きい場合は修復手術が行われるこ とがあります。









総合誌 あなたと ともに歩む道を求めて

2023.07.01 No.213 定価 550 円税込

● ひと / 石川早智子さん ●応援します / 小林宙さん

- 緊急取材 / 隠されていたワクチンデータ
- 実践絵本/私の学級開き





医療エッセイ 私の新米医師時代 東儀洋先生執筆!

元気×3 扁平足の痛みや 予防に効果的! かかと上げ体操

* 201 ~ 212 バックナンバーもあります! ご購入、お問い合せは受付まで。

●患者さんの声●

74歳女性。10年来の腰痛と右脚のしびれが時折悪化す るため来院しました。診察の結果、仙腸関節障害が原因と 診断しました。身長 163cm、体重 56kg。 疲れやすい方で、 脚が冷えてつりやすく、夜は2回トイレにおきます。舌 は苔が少なく、乾燥しています。また、4-5年前から夜 に口が乾き、咳も出るとのことです。脈は細で弱。腹診で は、腹壁が全体にやや弱く、下腹部に力がありません。漢 方医学的に「血虚・風痹(ふうひ)、腎陰陽虚」と判断して、 疎経活血湯 (そけいかっけつとう) と八味地黄丸 (はちみ じおうがん)を処方しました。2週間後「腰の痛みとしび れはだいぶ良くなった!」「漢方を飲んだらすごく口が潤っ て咳も出ない!」とのこと。さらに夜間の頻尿もなくなっ たので良く眠れるそうです。長年の苦痛から解放されて、 感激もひとしおのご様子でした。

(*漢方薬の効果には個人差があります。必ず漢方専門医または薬剤師に 相談し、内服して下さい。)



